

1. 基本情報

- (1) 国名： カメルーン共和国（以下、「カメルーン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名： クリビ市
- (3) 案件名： クリビ零細漁業コミュニティ・センター拡充計画
(The Project for Upgrading and Extension of Kribi Community Center for Artisanal Fisheries)

(4) 計画の要約：

本計画は、カメルーン南部州に位置するクリビ零細漁業コミュニティ・センターにおいて、施設及び機材の拡充を行うことにより、同センターにおける衛生的な環境下での鮮魚取扱量の向上を図り、もって水産物の生産量増加及び衛生状況改善を通じ、同国における食料安全保障の改善に寄与する。

2. 計画の背景と必要性

(1) 本計画を実施する外交的意義

アフリカ大陸中部に位置するカメルーンは、中部アフリカ経済通貨共同体 (CEMAC) 全体の GDP の約 4 割を占め、周辺国と比較して経済の多様化も進み、域内経済の牽引役として、地域の安定化を図る上で重要な役割を担う中部アフリカの拠点国である。

1960 年の独立以来、紛争が散発する中部アフリカにおいて政治的な安定を保つ一方で、北部地域への過激派勢力の浸透や英語圏地域分離独立運動等の他、近年はウクライナ情勢に端を発する食料価格上昇による低所得層の食料危機等の課題を有する。

我が国は、対カメルーン国別開発協力方針における重点分野の一つとして、水産振興を含む農業・農村開発を掲げ、また第 8 回アフリカ開発会議 (TICAD 8) において、ブルーエコノミー推進（持続可能な水産の推進）を表明しており、本計画はこれらの方針及びコミットメントの実現を図るものである。更に同国産海産物の供給増を通じ、SDGs ゴール 2「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養を実現し、持続可能な農業を促進する」に貢献する。

(2) 当該国における地方行政セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

カメルーンにおいて、水産セクターを含む農業セクターは GDP の 17%（世銀、2021 年）、労働人口の 60% を占める重要産業である。同国政府の長期開発戦略である「国家開発戦略 2020-2030」では、水産セクター開発を重点分野の 1 つに位置づけ、①漁業生産量増加、②水産バリューチェーン強化、③雇用創出に取り組む方針を示している。同国の漁業生産量は 2013 年の 21 万トンから 2021 年の 30 万トン (FAOSTAT) に増加したが、年約 50 万トンの国内需要に対応すべく、漁業生産量の更なる増加及び水産流通基盤の構築・強化を優先事項としている。

クリビ零細漁業コミュニティ・センター（以下、「同センター」という。）は、2005 年度無償資金協力「零細漁業センター整備計画」により整備された。同センターで水揚げされた鮮魚（甲殻類・底魚が中心）はクリビ市や周辺地域だけでなく、当初想定していなかった首都ヤウンデ市にも供給が開始され、首都に流通する国産海水魚の約

60%（年間約 200 トン）を担うまでに至り、国内最大の水揚量を誇る海水魚の供給拠点として重要な役割を果たしている。また、海産物の鮮度改善による漁業関係者の収入増加（2004 年から 2009 年で 1.6 倍に増加）や同センター内外の食堂利用者増加による周辺事業者の収入向上が確認されている。

同センターでの水揚量は、建設当時の 400 トンから年 4%の増加が続き、2023 年には 790 トンに達したものの、上記のとおり、旺盛な国内需要を満たせておらず、更なる水揚量の増加が求められている。同センターを利用する船主も増大する国内需要に対し、各自が所有する漁船数の増加を希望しているが、造船区画のスペース不足により造船ができず、水揚量の更なる増大の制約要因となっている。また、施設規模の不足により、水揚げのピーク時に地面など不衛生な場所で行われる水産物の取引や、同センター敷地内の通路や空き地にて行われる雑貨・小物販売、漁具修理、造船等による不適切な動線といった安全・衛生管理上の課題を有している。

本計画は、同センターの施設・機材の拡充を通じて年率約 4%で増大する水揚量に対応し、衛生的な環境下での鮮魚取扱量の向上を図ることにより、当初 400 トンの水揚量規模で整備された既存の水揚・卸売施設・機能を更に拡充するものであり、同国における長期開発計画の中でも優先度の高い事業として位置づけられている。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】新設：既存岸壁延長、漁港施設用地拡張（埋立）、施設（荷捌・販売区画、造船区画、船外機修理区画、倉庫、レストラン棟、雑貨・小売商店棟、改修：施設（荷捌・販売棟、レストラン棟）

【機材】保冷魚箱、統計・運営事務機器（タブレット端末及びサーバーなど）

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、入札補助、施工監理、統計・運営情報電子化及び組織能力・施設・通信環境運営維持管理体制強化、水産物取扱能力強化に関する指導

② 期待される開発効果

「クリビ港及びセンターにおいて衛生的に取り扱われる鮮魚の漁獲高」（481 トン/2023 年→1,462 トン/2031 年）及び「クリビで水揚げされ、ヤウンデ市に流通する漁獲高」（200 トン/2023 年→608 トン/2031 年）により、漁業生産量増加及び衛生状況改善を通じた食料安全保障の改善への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：牧畜・漁業・畜産省

④ 他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて詳細確認する。

⑤ 運営／維持管理体制：独立採算制で同センターが運営主体となり運営維持管理を担う。

(2) その他特記事項

● 環境社会配慮カテゴリ分類：B

● ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

セントルシア「沿岸漁業振興計画」（2001 年）の事後評価では、防波堤等の海洋構造物設置により海流が変化し、漁港の港口部に慢性的な堆砂が生じるようになった。本事業では地勢条件、波浪条件等を吟味し、水理模型実験を行った適切な施設配置を行い、可能な限りのリスク回避に務めるよう協力準備調査にて十分な精査を行う。

以 上

[別添資料] カメルーン クリビ零細漁業コミュニティ・センター拡充計画 地図

[別添資料] カメルーン クリビ零細漁業コミュニティ・センター拡充計画 写真

【別添資料】 カメルーン クリビ零細漁業コミュニティ・センター拡充計画 地図
【カメルーン全体地図】



出典：maps Cameroon (<https://maps-cameroon.com>) より JICA 作成

【クリビ零細漁業コミュニティ・センター】



出典：Microsoft Bing より JICA 作成

〔別添資料〕 カメルーン クリビ零細漁業コミュニティ・センター 写真



販売区画の様子



地面で鮮魚を消費者に直売する漁師の様子



通路で小物販売がされている様子